

コア歯学教育演習（Ⅱ）

コーディネーター：歯科矯正学分野 間山寿代講師

(担当 歯学部臨床系全分野)

第4学年 後期

演習

45.0時間

教育成果（アウトカム）（演習）

これまでの4年間の学部教育の中で、1年次での看護・介護体験実習や態度演習、2年次では歯科専門体験実習を通して、将来歯科医師として必要な基本的態度を身につけてきた。また3,4年次での臨床歯科医学科目の基礎実習を行うことで、多くの臨床に関わる技能の基礎を身につけてきた。本演習では今まで身につけてきたことを基礎にして臨床科目全科にわたる演習を実施することにより、5年次で行う臨床実習を十分に行える態度、技能、知識を身につける。

(ディプロマ・ポリシー：1、3、4、5、6、9)

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の演習内容を確認し、各ユニットの到達目標に記されている「事前学習課題」について各自学習してくること。各演習に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全ユニットに対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
2月3日 (月)	コーディネーター	1	演習の説明(10:00~)
	歯科麻酔学分野	2	浸潤麻酔 [F-3-1)-④] 事前学習：浸潤麻酔に必要な器具、手順について教科書(臨床歯科麻酔学)を見て実習に臨むこと。
	予防歯科学分野	3	口腔内状態の記録 [F-2-2)-②] 事前学習：事前に口腔内状態の記録(硬組織診査等)について該当する講義資料等を調べてまとめること。
		4	
2月4日 (火)	小児歯科学分野	1	保険装置の説明、保護者へのブラッシング指導、フッ化物塗布、予防填塞 [E-4-2)-⑧、F-3-6)-③、F-3-6)-①、F-3-6)-②] 事前学習：
		2	上記の4項目に関する教科書(学建書院版)、配布している基礎実習書に目を通して実習に臨むこと。
	補綴・インプラント学講座	3	支台歯形成、テンポラリークラウンの作製 [E-3-4)-(1)-④、E-3-4)-(1)-⑥] 事前学習：
		4	FRのクラウンの実習書の支台歯形成と既製冠を用いた暫間冠製作に関する手技と使用する機材を確認しておくこと。

月 日	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
2月5日 (水)	予防歯科学分野	1	ブラッシング指導 [F-3-2)-③] 事前学習：事前に口腔保健・予防歯科学 P154～160 を読み、ブラッシング方法についてまとめておく こと。
		2	
	歯科矯正学分野	3	矯正装置の説明 [E-4-1)-④] 事前学習：矯正装置について、教科書（医歯薬出 版歯科矯正学）、歯科矯正学講義ノートに目を通し て実習に臨むこと。
		4	
2月6日 (木)	口腔外科学分野	1	初診患者の医療面接（急性症状、慢性症状） [E-1-1)-③] 事前学習：歯科治療時に注意しなければいけない 全身的な疾患と処方されている薬物について ・抗凝固薬、免疫抑制薬、骨吸収抑制薬など ・薬の相互作用
		2	
	補綴・インプラント学講座	3	概形印象採得、欠損補綴の治療方針の説明、 レストシートの形成 [F-3-1)-⑤、E-3-4)-(2)-②、E-3-4)-(3)-①、 E-3-4)-(1)-①、E-3-4)-④] 事前学習：上記内容に関する有床義歯補綴学の講 義レジメおよび実習書の内容をそれぞれ A4 レポ ート用紙1枚にまとめておくこと。
		4	
2月7日 (金)	口腔外科学分野	1	頭頸部（顎・顔面・頸部）の診察、手洗いと滅菌 グローブ装着、普通抜歯、縫合 [F-2-2)-②、F-3-1)-①、F-3-5)-①、[F-3-5)-②] 事前学習：頭頸部の診察、手洗い・滅菌グローブ の装着、抜歯器具の準備・抜歯操作、縫合につい て講義レジメ、実習書を確認してから臨むこと。
		2	
	予備日	3	
		4	
2月10日 (月)	歯科医学教育学分野 う蝕治療学分野	1	ラバーダム防湿、根管治療、う蝕象牙質の除去 [F-3-1)-③、G-3-⑤、G-3-④] 事前学習：ラバーダム防湿、根管治療、う蝕象牙 質の除去について、講義ノート、実習書を参照 理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療 学）にて確認する。
		2	
	歯科医学教育学分野 う蝕治療学分野	3	レジン充填、修復用隔壁の装着 [F-3-3)-①、G-3-④] 事前学習：レジン充填、修復用隔壁の装着につい て、講義ノート、実習書を参照 理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復 学）にて確認する。
		4	

月 日	担当講座・分野	時 限	ユニット名 [コア・カリキュラム]
2月12日 (水)	歯周療法学分野	1	歯周病の病状の説明 [E-3-3)-(3)-②] 事前学習：臨床歯周病学、ザ・ペリオドントロジー等の教科書、3年 TxAD 講義および実習レジメに目を通して実習に臨む事。
		2	
		3	スケーリング・ルートプレーニング [F-3-3)-⑥、G-3-⑥] 事前学習：臨床歯周病学、ザ・ペリオドントロジー等の教科書、3年 TxAD 講義および実習レジメに目を通して実習に臨む事。
		4	
2月13日 (木)	歯科放射線学分野 歯科麻酔学分野	1	エックス線撮影の説明（班別：第1班） バイタルサイン（班別：第2班） 心肺蘇生（班別：第2班） [E-1-2)-②、③、E-1-2)-⑦、E-1-4)-(1) -①、E-1-6)-②] 事前学習（放射線）：歯科診療におけるエックス線撮影の必要性、目的、方法、放射線防護および放射線の人体への影響について教科書で事前学習すること。 事前学習（麻酔）：バイタルサインの正常値、触診法による血圧測定の方法、心肺蘇生法の手順について、教科書（臨床歯科麻酔学）を見て実習に臨むこと。
		2	
		3	バイタルサイン（班別：第1班） 心肺蘇生（班別：第1班） エックス線撮影の説明（班別：第2班） [E-1-2)-②、③、E-1-2)-⑦、E-1-4)-(1) -①、E-1-6)-②] 事前学習の内容は同日1・2限に同じ
		4	
		OSCE 実施委員長	
2月14日 (金)	予備日	1	
		2	
		3	
		4	

成績評価方法

共用試験 OSCE により評価する。

備 考

到達目標は、医療系大学間共用試験実施評価機構の歯学系 OSCE を参照